

カトリック仙台司教区・カリタスジャパン 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
1) 義援金振替口座:02260-9-2305
名義:カトリック仙台司教区本部事務局
2) 支援金振替口座:00170-5-95979
名義:カリタスジャパン

米川ベースでは、米川市の10の地区が競い合う「米川地区市民運動会」に参加しています。さあ今年の成績はいかに！次に、新しい試み「国際交流デー」に取り組み始めた大船渡ベースをご紹介します。さらに、約1月半、「カリタス広島災害ボランティアセンター」の立ち上げから、「祇園ベース」の責任者として、奉仕して下さった大西勇史ベース長からの感謝の言葉をお伝えいたします。最後に、来年度のカレンダーのお知らせです。昨年度は大好評で皆さまのお手元に届けられずご迷惑をかけてしまいました。今年はそんなことがないようにがんばっております。ぜひ、ご利用ください。

第54回米川地区市民運動会

カリタス米川ベース 千葉 道生

9月14日(日)、今日は待ちに待った運動会！



天気も良く、最高の運動会日和でした。前々日から練習をし、参加者にはあらかじめ連絡をし、マラソン選手にはマラソンコースを伝えて身体を作り、態勢を整えてきました。

そして入場行進は、昨年一位の2区からです。我ら一区は9番目。開会式では、選手宣誓や祝辞を聞いて盛り上がっていきます。元防衛大臣の小野寺五典氏もわざわざ応援に来られ、祝辞を述べてくれました。

大会種目は、全12種目。

- ①ナイスキック ②ゲートボール ③愛のキューピットレース
- ④障害物リレー ⑤綱引き ⑥みんなでジャンプ
- ⑦グラウンドゴルフ ⑧マラソン ⑨ナイスバウンド
- ⑩その名は大五郎 ⑪玉入れ競技 ⑫世代は移る(リレー)

私たちが様々な種目に参加させていただき、一区の出番になると自治会長さんの太鼓が鳴り響き、応援にも力が入りました！「一区頑張れ〜！」米川の皆さん普段から運動しているようで、とても足が速くカリタスの参加者もビックリしていました。

一日中、皆で心を一つにして応援して、お昼に美味しいお弁当を皆で食べて、順位に関係なく喜びを分かち合う。地域の親睦のため、こんな大きな規模で運動会が行われていることを、とても素晴らしく感じる最高の運動会でした！



そして閉会式…。成績発表…。

なぜか1位から発表していきます。「1位二区！2位、3位…」一区はなかなか呼ばれません。「6位、7位…」と続き、心臓がバクバク。「8位ですよ〜さあ8位はどこでしょうか〜。」と一区や皆を焦らすナイスな発表。

そして「8位！一区！」と発表されると一区から歓声が上がりました！

まるで優勝したかのような喜びようです。

近年は最下位が続いていた一区が、一つずつ順位が上がっていきます。一昨年は全種目出場が目標だった米川一区が、少しずつ順位を上

げることが米川地区市民運動会のささやかな楽しみにもなっているようです。慰労会では、一区の皆さんと喜びを分かち合い、来年に向けて、また頑張ろう！と決意を新たにしました。

普段、南三陸町で活動している私たちですが、その拠点を支えて下さっている米川の皆さんとの交流を、このような形で迎えられた事に本当に感謝の一言でした。

来年は7位を目指して頑張るぞ！！

そしてこれからも、南三陸町での活動も頑張ります！

ひとまずの船出、国際交流デー

カリタス大船渡ベース 深堀 崇

カリタス大船渡ベースでは、月一回を目標に国際交流デーの開催を始めました。大船渡市・陸前高田市に住む外国人の方々により良い交流の機会を設けていければと思います。スタートしました。まだまだ手探りで何をどうすればよいのか悩みながらの出航です。



国際交流デーを考えた経緯は、大船渡ベースが活動をはじめて3年が経とうとしています。数多くあった支援団体が去っていった後に地域の支援団体などを見ていて、支援が行き届いていない部分がある事が分かってきました。

大船渡には、2014年6月まで仙台教区滞日外国人支援センターが、現在の拠点である石巻へ移るまで大船渡市・陸前高田市に在住の外国人に対しての支援をして下さっていたので、外国人への支援をベースとして深くかかわることはありませんでした。しかし、6月に拠点が移動して外国人の方々の喪失感は大きなものでした。そこで改めてベースの活動を考えたときに、彼女たちに何ができるのかを考え始めました。今まで滞日外国人支援センターに任せきってしまっていたことを改めて始めるとなると情報が不足していました。そこでまずは国際交流デーという形で地域の外国人とベースが結びついて顔のわかる関係を築いていければとの思いから国際交流デーはスタートしました。

9月13日(土)に第一回の国際交流デーを開催しました。ベースに来ているボランティアさんの中に、ベトナムから来ている人もいたので、その方々にベトナム料理を準備していただき、ベトナム・フィリピン・日本・コンゴの4か国の交流の場となりました。ベトナム料理は、生春巻き・揚げ豆腐の詰め物・えびせんサラダ・スープを準備しました。フィリピン料理は、アドボ・チャプソイ・カルデディータを持ってきてくださいました。



二か国の料理が並んで立食パーティーの開始です。はじめにベース長のエドガル神父様から開会の言葉がありスタートしました。自己紹介をしてもさすがに初対面同士なので、各国が混ざり合っただけの交流になるまで時間がかかりましたが、徐々に話をして交流するようになって

ていきました。食べ物も囲んでの交流会は瞬く間に時間が過ぎていきました。

今後の国際交流デーはどのようなことができるのか楽しみにしているところです。今は、食事会をして関係を築いて行ければと思っています。その中から彼女たちからやりたいことや学びたいことが出てきたらそれに応えていければと思います。夢は大きく、大船渡市・陸前高田市の国際交流の発信地となっていければと思っています。



カリタス広島災害サポートセンター閉鎖

カリタス広島祇園ベース ベース長 大西 勇史

広島司教区は、8月20日の大規模土砂災害の支援のため、「カリタス広島災害サポートセンター」を立ち上げ、被災地近くの祇園教会と清心幼稚園を「祇園ベース」として活動を行ってきました。

9月末までに祇園ベースを利用して下さった方々は、延べ人数で300人を超えています。活動内容は、主に土砂撤去(道路、側溝)、個人宅の清掃(庭、外壁、床、家財道具など)、ニーズの聞き出し、炊き出しの手伝いなど。

災害から一カ月以上が過ぎた現在は、土砂撤去のニーズも減り、大勢のボランティアによる作業も少なくなりつつあります。また、広島市社会福祉協議会(以下、社協)は、10月1日より、ボランティア受付を土日のみに切り替えました。

それに伴い、「カリタス広島災害サポートセンター」及び「祇園ベース」の活動も10月12日をもって終了することになりました。(今後は、社協本部に人員を派遣し、関わりのある自治会からの要請に対応していきます。)

活動全体を振り返って、教会の内外を問わずボランティアの裾野が広がっているということを感じました。今回の災害が都市型災害と呼ばれるもので、被災地へアクセスしやすいことも要因の一つかもしれませんが、良く言えば、気軽にアウトドアにでも行くような感覚でボランティアに参加している人がたくさんいたように思います。学校指定であるうジャージに長靴を履いてスコップを持ち、歩いて社協までやってきていた女子中学生には驚きました。

社協の調べによると9月20日まででボランティアの数は3万人を超えたそうです。

また、多くのカリタスベース経験者に助けられました。ベースでも現場でもマナーがよく、未経験者を上手にリードしている姿など、「さすがカリタス」といった感じで誇らしかったです。

特に、カリタス釜石の友永廉さん、高橋和也さんには人手不足のベース運営から、ボランティア現場の調整に至るまで多岐にわたって助けていただきました。

長期ボランティアの山岡滋さん、祇園ベースは山岡さんの働きとユーモアにいつも支えられていました。ありがとうございました。

最後になりましたが、日帰りで激励しにきて下さった小松神父さま、大切なスタッフを快く派遣して下さったカリタス釜石の伊瀬さ



ん、ベース案内、募集要項の添削をしてくれた赤井さん、的確なアドバイスをくれた千葉ベース長、立ち上げ当初の現場リーダーと情報発信をしてくださった猪口神父さま、ビブスの洗濯を毎日してくれた祇園清心幼稚園のSr.渡嘉敷をはじめとする先生方、暖かく受け入れて下さった祇園教会の皆さん、全国から支援金、物資を送って下さった皆さん、ボランティアに来て下さった皆さん。立ち上げ準備から運営まで、職場の仕事と並行して奉仕してくれた広島教区の青年たち。

皆さんがいなければこの活動は出来なかったでしょう。皆さんとともに被災された方々のために、この約1カ月半を捧げることが出来たこと嬉しく思っています。ありがとうございました。



4周年カレンダー ご案内

来年3月はじまりの「東日本大震災復興支援カレンダー」を作成することにいたしました。仙台教区内で活動して下さっているカトリック系の各ボランティアベース、支援団体の皆様の活動風景を通して、皆さんにまだ復興支援活動が続いていることを日々心に留めていただけるようなカレンダーになるよう、現在作成しているところです。

今回は短期間のお申込受付となり、多くの方々にご迷惑をおかけしまして、大変申し訳ございませんでした。今回は、まだカレンダーが完成しておりませんが、時間に余裕をもって、11月から受付を開始させていただくことにいたしました。

今回のカレンダーは、一部につき300円以上(送料込み)のご寄付で、1回のお申し込みあたり5部以上からご注文を受付することになりました。ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXもしくはメールで仙台教区サポートセンターまでお申し込みください。よろしくお願い申し上げます。

【カレンダー詳細 (予定)】

- ・中綴じカレンダー A4サイズ (見開き A3サイズ)
- ・2015年3月～2016年3月までの13ヶ月版 (見開き1ページが1カ月分のカレンダーとなり、上部に活動写真1枚掲載予定です。)

【その他】

- ・1回のお申し込みあたり5部以上からの受付となります。
- ・カレンダー発送時期は、お申込受付完了時にご連絡いたします。
- ・ご寄付は、カレンダー発送時に専用の払込用紙を同封いたしますので、その用紙にてお振り込みをお願いいたします。また、振込手数料は、カレンダーお申込者様のご負担となりますので、ご了承ください。
- ・カレンダーお申込用紙は、ブログから入手していただくか、仙台教区サポートセンターまでお問い合わせください。

カレンダーお問い合わせ・お申し込み先

◆仙台教区サポートセンター

メールアドレス sendaidsc@gmail.com

FAX 番号 022-797-6648

電話番号 022-797-6643